

令和元年度下半期 地域ケアセンター会議 実施状況一覧(大泉圏域)

地域包括支援センター名称	日時	参加者(関係機関等)	参加者数	テーマ/目的	検討結果
やすらぎミラージュ	令和2年1月24日	民生児童委員、町会・自治会、老人クラブ、訪問支援協力員、介護サービス事業所等	27人	【テーマ】 地域防災について 【目的】 災害の現実と区の施策、区民が行える対策を関係者に伝え、考えていただく機会を提供する。	・地域防災について、練馬区区民防災課より住まいの防火防災診断事業や浸水ハザードマップ等について講演をいただいた。 ・町会の方からは「練馬区や消防署の活動に町会も連携をしていきたい。」とお話をいただいた。 ・発災してすぐに公助が行き届くわけではないので、自助・共助の必要性について、今後も地域で共有することが重要である。
大泉北	令和2年2月21日	民生児童委員、町会・自治会、老人クラブ、訪問支援協力員、介護サービス事業所、消費生活センター等	39人	【テーマ】 練馬区内の消費者被害の現状を知る 【目的】 消費者被害を防ぐためにはどうすれば良いかを学び、高齢者の消費生活被害を予防するための地域づくりについて考える。	・消費生活センターの活動や最近の高齢者の消費者被害等について、情報共有を行った。 ・「事例を交えて被害防止策を教えてもらったのでためになった。」 「地域の集まりでも今日のことを伝えていきたいと思った。」 「地域で見守る目が必要。悪徳業者が入り込めない地域づくりをしていきたい。」等の意見があった。
大泉学園	令和2年2月10日	民生児童委員、町会・自治会、訪問支援協力員、介護サービス事業所、生活支援員、消防署、区民防災課等	55人	【テーマ】 大泉地域の防災を考える ～地域でできること、個人でできること～ 【目的】 災害時の地域の体制や平時からできる備えについて学び、個人だけでなく地域で取り組めることを検討し、地域全体の防災意識を高める。	・「災害時に備えて平時から準備できることは何か」についてグループワークを通じて検討を行った。 ・町会独自の取り組みや東京ガス担当者からの災害時対応の説明など、普段聞けない話が聞けて良かったという意見が多かった。 ・防災については、定期的にテーマとして取り上げることにより、地域全体の防災意識が高まると思われる。出張型街かどケアカフェ事業で「防災ウォークラリー」等を企画したい。
南大泉	令和2年2月27日	民生児童委員、町会・自治会、老人クラブ・地域ボランティア団体、介護サービス事業所等	28人	【テーマ】 高齢者のお出かけマップをつくらう ～高齢者のくつろげる場所を探しませんか～ 【目的】 地域ネットワークの構築、地域資源の情報共有・意見交換	・高齢者の居場所（食事をする所、おしゃべりができる所、休める所）についてグループワークを行った。 ・地域の高齢者がどのようなことを必要とし、不便に思っているのかについて知ることができた。 ・今回の意見を元に高齢者・地域の特性を踏まえ、現在ある地域資源の活用方法について提案していけるよう努めていく。
大泉	令和2年2月12日	民生児童委員、訪問支援協力員、介護サービス事業所、高齢社会対策課等	51人	【テーマ】 練馬区の「介護予防」についての考え方や取り組み 【目的】 区の「介護予防」についての考え方や取り組みについて情報提供を行うとともに地域の現状や課題を共有し様々な意見をいただき今後活かす。センター会議を通じて、地域包括ケアシステムのネットワークの構築を図る。	・「地域で支援する介護予防の取り組み」として練馬区はつらつライフ手帳の活用や健康長寿はつらつ事業について共有した。 ・「地域の社会資源について選択肢の幅が広がった。」 「大変良い情報がもらえ勉強になった。」等の意見があった。 ・地域の方々がそれぞれの立場で社会資源や介護予防について話し合う機会が持てたため、地域のネットワーク構築につながるよい機会となった。

令和2年度上半期 地域ケアセンター会議 実施状況一覧(大泉圏域)

地域包括支援センター名称	日時	参加者(関係機関等)	参加者数	テーマ/目的	検討結果
やすらぎミラージュ	令和2年7月28日	民生児童委員、町会・自治会、老人クラブ、訪問支援協力員、介護サービス事業所等	23人	【テーマ】 ひとり暮らし高齢者等訪問支援事業と高齢者の見守り 【目的】 ひとり暮らし高齢者等訪問支援事業を地域の関係者に伝えて、高齢者の見守りを地域の関係者と考える。	・ひとり暮らし高齢者等訪問支援事業の制度説明や事例紹介を通じて、見守りについて意見交換を行った。 ・「民生児童委員が持つ情報と地域包括支援センターの持つ情報を合わせて、見守りに繋げなければならない。」「コロナ禍により町会の活動が自粛というかたちで大幅に制限された。」等の意見があった。
大泉北	令和2年9月25日	民生児童委員、町会・自治会、老人クラブ、訪問支援協力員、介護サービス事業所、薬局等	18人	【テーマ】 コロナ禍での地域づくり 【目的】 「コロナ禍での地域づくり」をテーマに事前アンケートを活用しながら、コロナ禍での困り事や取り組みについて情報共有しつつ、地域に必要な物について意見交換しながら地域の横のつながりの重要性等を再認識していく。	・コロナ禍での地域づくりについて検討を行った。 ・意見交換では、地域づくりに必要なこととして、アルコール消毒液やマスク等の感染予防物品に関することをはじめ、PCR検査が可能な病院情報や専門病院等の医療機関に関する事、訪問販売などの買物への支援、ICTを活用したコミュニケーションに関する事等について意見があった。
大泉学園	令和2年8月25日	民生児童委員、町会・自治会、訪問支援協力員、介護サービス事業所、社会福祉協議会等	人	【テーマ】 ウィズコロナ時代の地域づくり ～この時代だからこそできること～ 【目的】 新型コロナウイルス感染拡大によって高齢者の集いや見守りが難しい時代の中で、逆に、この時代だからこそ工夫をしてできる活動を考察する。	・ウィズコロナ時代にどのような方法で高齢者の見守りや地域づくりができるかアンケート調査を実施し、検討した。 ・「屋外で誰もが気軽に行えるラジオ体操のグループ育成が有効ではないか」等の分析など、参考になる意見が多く寄せられた。 ・活動を紹介してもらった老人クラブの人が、すぐ近くの団地の自治会長と知り合いとなり、つながりができて良かったとの話があった。
南大泉	令和2年9月18日	介護サービス事業所等	23人	【テーマ】 コロナ禍における高齢者支援の実情と課題 【目的】 コロナ禍中の各事業所の対応や不安等を事前にアンケートで集計し、集計結果の報告と、意見の多いテーマについてグループワークを行う。	・「新型コロナの影響で介護サービス等の提供が中止となってしまった高齢者について、支援を行うことが可能か判断するためにも、正確な情報の共有が必要である。」「コロナ禍でのサービス提供のなか、利用者や家族より感謝の言葉をいただくことがあり、モチベーションにつながる。」等の意見があった。 ・コロナ禍での支援方法や情報共有の流れ等について、支援者間での共通認識を深める必要がある。
大泉	令和2年9月16日	民生児童委員、訪問支援協力員、介護サービス事業所等	31人	【テーマ】 「新しい生活様式」を意識した地域づくりについて 【目的】 担当地域の個別課題の解決、地域包括支援ネットワークの構築、地域課題の把握、地域づくり・資源開発を図る。	・「コロナ禍でも電話やチラシの投函、距離をとっての訪問など、工夫の上、民生児童委員の活動を継続した。」「地域で急につなかりを作ることは困難。日頃の清掃活動や防犯パトロール等の活動が重要である。」等の意見があった。 ・コロナ禍の中、民生児童委員や町会、訪問支援協力員の方々が工夫しながらそれぞれの活動を継続して頂いていることについて、改めて知ることができた。